

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	24-3
PDCA	主要事業名	公共交通対策事業	部課名	建設部都市計画課	担当 内線	浅井 443

P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 3 単位施策： 移動環境																																										
	全体事業期間： 令和 3 年度 全体事業費等： 137,809 千円																																										
	会計 一般会計 歳出科目 02.01.09.05.50																																										
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 173,700 千円																																										
	事業概要等	<p>事業概要： 市民の移動手段の1つとして公共交通バスの運行を維持確保するものである。地区路線A「ごんくる」3線の運行と基幹路線バスへの運行経費等補助のほか、交通空白地域における地区路線Bの運行と新規導入を図る。</p> <p>事業目的： 少子高齢化や単身世帯増加など時代背景から予測される移動需要の高まりを見据え、市民の暮らしの足の維持、確保を目的とする。</p> <p>事業内容： 地区路線A・Bの運行、バス事業者への運行経費等補助、新規路線の導入、公共交通会議の運営と広報、バスロケーションシステム等バス環境維持整備を行う。</p> <p>問題点・課題等： 限りある財源の範囲で、市内全地域から一定の満足度と納得感で評価いただける効率的な運行の仕組みや路線の確立が課題となっている。</p>																																									
	予算額	主要事業とする理由																																									
	137,809 千円	移動しやすい環境は、豊かで活力のある市民生活を支える基盤であるため。																																									
	財源内訳	得られる成果																																									
	市費 127,088 千円	公共交通バス環境の維持と向上により市民の暮らしの足を確保することで、だれもが生活しやすいまちづくりにつながる。																																									
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市内路線バス利用者数</td> <td>実績値</td> <td>1,221</td> <td>831</td> <td>-</td> <td>人/日</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1,600</td> <td>1,700</td> <td>1,012</td> <td>人/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	市内路線バス利用者数	実績値	1,221	831	-	人/日	目標値	1,600	1,700	1,012	人/日		実績値					目標値						実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																							
市内路線バス利用者数	実績値	1,221	831	-	人/日																																						
	目標値	1,600	1,700	1,012	人/日																																						
	実績値																																										
	目標値																																										
	実績値																																										
	目標値																																										
県費 2,221 千円																																											
その他 8,500 千円																																											

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																						
	144,356 千円	<p>基幹路線バスへの運行経費等補助や既存路線の継続、交通空白地域における地区路線の新規導入により市民の暮らしの足を確保することで、だれもが生活しやすいまちづくりにつながった。</p>																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市内路線バス利用者数</td> <td>実績値</td> <td>919</td> <td>人/日</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1,012</td> <td>人/日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和3年度	単位	市内路線バス利用者数	実績値	919	人/日	目標値	1,012	人/日							
成果指標		令和3年度	単位																					
市内路線バス利用者数	実績値	919	人/日																					
	目標値	1,012	人/日																					
C 課題の整理	事業の評価・課題	<p>B</p> <p>バス利用者数は目標値を下回ったものの、コロナ禍に対応したコミュニティバス車内における抗菌・抗ウイルス対策の継続や大型商業施設イベントでの乗車体験・バスの乗り方説明、地元バス会を通じた各地域の住民ニーズに合わせた広報の実施などバス環境の向上や利用促進を図ったことで、コロナ禍における利用者の減少を食い止めることができた。また、交通空白地域となっていた成岩東部地区・瑞穂地区では地区路線B（成岩東部線、瑞穂線）の導入により新たな交通手段を確保し、有脇地区では路線バス以外の交通手段としてタクシーを利用した制度の実証実験を実施した。今後は、実証実験の結果を踏まえ、本格導入に向け取り組んでいく。</p>																						
	A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	<p>拡充推進</p> <p>既存路線については、利用を促進するため、バスロケーションシステムの運用やインターネット上のバス情報の発信強化、地元バス会との協働による広報活動の推進を図る。加えて、地区路線Aごんくるの小学生運賃無料化やお得な乗車キャンペーン等の実施により、公共交通への関心を高めることで、移動手段のひとつに公共交通バスを取り入れるきっかけづくりを行う。また、引き続き、交通空白地域の解消を図るため、有脇地区ではタクシーを活用した新たな制度を本格導入するとともに、他の地域でも新たな交通手段の確保に向けた取組を進める。</p>																					
	観点別評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性 妥当</td> <td>④上位施策への貢献 大きい</td> <td>⑦コスト削減余地 ある</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ 高い</td> <td>⑤成果向上の余地 ある</td> <td>⑧受益者負担適正化余地 ※対象・手段の変更</td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響 大きい</td> <td>⑥類似事業の有無 ない</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>					必要性	有効性	効率性	①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 ※対象・手段の変更	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	-						
必要性	有効性	効率性																						
①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある																						
②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 ※対象・手段の変更																						
③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	-																						

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用